

平成 17 年度

老人保健法等に基づく健康診査及び
がん検診の対象人口率調査報告書

(概要版)

平成 18 年 3 月

東京都福祉保健局

調査の概要

1 調査の目的

老人保健法等に基づく健康診査及びがん検診の対象人口率を把握するため、労働安全衛生法に基づき実施されている健康診査等を含めた、都民全体の健康診査の受診状況を調査することにより、健康診査及びがん検診の効果的、効率的な実施に資することを目的とする。

2 調査設計

(1) 調査対象：東京都全域（島しょを除く）に住む満20歳以上の女性及び満40歳以上の男性 3000人

(2) 調査方法：調査員による訪問留置・訪問回収法

(3) 調査期間：平成18年2月～3月

3 回収結果

(1) 有効回収標本数 2,149標本(71.6%)

(2) 未完了標本数 851標本(28.4%)

4 回答者の性・年齢階級別構成

回答者の性・年齢階級別構成は表1のとおりである。性別・年齢構成ともに前回調査と同じ傾向である。

(表1) 性・年齢階級別構成

区分	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性	826	-	-	182	236	209	153	46
	38.4	-	-	8.5	11.0	9.7	7.1	2.1
女性	1,323	152	243	199	231	235	182	81
	61.6	7.1	11.3	9.3	10.7	10.9	8.5	3.8
計	2,149	152	243	381	467	444	335	127
	100.0	7.1	11.3	17.7	21.7	20.7	15.6	5.9

対象人口率の推計

(1) 対象人口率の考え方

老人保健法に基づく健康診査は、医療保険各法（健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法及び私立学校教員共済組合法）及びその他法令（労働安全衛生法）に基づいて健康診査が行なわれる場合には、対象としないことになっている（老人保健法第22条）。そのため、40歳以上の人口から、医療保険各法及びその他法令に基づき健康診査が実施される者を

除いた人口を老人保健法に基づく健康診査の対象者とする。

なお、がん検診における対象人口率についても、老人保健法に基づく健康診査に準拠しているものとする。

(2) 東京都の対象人口率

東京都(区部、市町村部(島しょを除く。))の対象人口率を推計した結果は、表のとおりである。

前回調査と比較すると、基本健康診査、いずれのがん検診においても対象人口率は低下している。低下している要因として、基本健康診査では、継続的に医療機関にかかった人の割合が前回調査に比べて高くなっていることがあげられる。また、がん検診では、勤務先の受診、医療機関で検診相当の行為を受けている者の割合が高くなっていることがあげられる。

上段：対象者数(人)
下段：対象人口率(%)
()内は前回調査結果

(表2) 対象人口率

	基本健康診査 n = 1,506	胃がん検診 n = 1,512	肺がん検診 n = 1,534	大腸がん検診 n = 1,485	子宮がん検診 n = 1,155	乳がん検診 n = 792
東京都	521	928	943	1,025	794	587
(前回調査結果)	34.6 (42.5)	61.4 (67.3)	61.5 (73.6)	69.0 (73.9)	68.7 (79.6)	74.1 (82.7)
区部	325	588	603	643	511	381
(前回調査結果)	35.1 (43.9)	63.3 (68.9)	64.0 (75.0)	71.8 (75.4)	71.4 (79.9)	78.6 (82.2)
市町村部 (島しょを除く)	196	340	340	382	283	206
(前回調査結果)	33.7 (39.3)	58.3 (63.8)	57.4 (70.5)	66.4 (70.5)	64.5 (78.9)	67.1 (83.6)

健康診査、がん検診の受診状況

1 都民の受診状況

都民で、労働安全衛生法に基づく職場の検診を受診した者や医療において検診相当の行為を受けた者など何らかの検診を受けた者の割合は表3, 4のとおりである。

前回調査と比較すると、健康診査、いずれのがん検診においても受診率は高くなっている。この要因として、医療における検診相当の行為を受けた者の割合の増加があげられる。

上段：受診者数（人）
 下段：受診率（%）
 （ ）内は前回調査結果

（表3）受診状況

	健康診査	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診
	n = 1,506	n = 1,512	n = 1,534	n = 1,485	n = 1,155	n = 792
全体の受診状況(何らかの検診を受けた者)	1,117	576	639	476	363	226
(前回調査結果)	74.2 (63.2)	38.1 (30.3)	41.7 (24.8)	32.1 (24.9)	31.4 (20.4)	28.5 (17.3)

上段：人数
 下段：割合（%）

（表4）検診別の受診状況

健康診査 n=1,506	勤務先で実施	418 27.8%	受診	365 24.2%		
			未受診	53 3.6%	医療機関で健診相当行為を受けた	18 1.2%
					個人的に健診を受けた	4 0.3%
					医療機関で健診相当行為を受けた及び個人的に健診を受けた	6 0.4%
					未受診	25 1.7%
	医療機関で健診相当行為を受けた	452 30.0%				
	個人的に健診を受けた	103 6.8%				
	入院中や療養中、出張等で事実上検診を受けることができなかった	12 0.8%				
	区市町村が実施する基本健康診査対象者	521 34.6%	受診	169 11.2%		
			未受診	351 23.3%		
無回答			1 0.1%			

胃がん検診 n=1,512	勤務先で実施	290 19.2%	受診	225 14.9%		
			未受診	65 4.3%	医療機関で検診相当行為を受けた	14 0.9%
					個人的に検診を受けた	4 0.3%
					医療機関で検診相当行為を受けた及び個人的に検診を受けた	3 0.2%
					未受診	44 2.9%
	医療機関で検診相当行為を受けた	175 11.6%				
	個人的に検診を受けた	81 5.3%				
	入院中や療養中、出張等で事実上検診を受けることができなかった	38 2.5%				
	区市町村が実施する胃がん検診対象者	928 61.4%	受診	74 4.9%		
			未受診	851 56.3%		
無回答			3 0.2%			

肺がん検診 n=1,534	勤務先で実施	312 20.3%	受診	249 16.2%		
			未受診	63 4.1%	医療機関で検診相当行為を受けた	14 0.9%
					個人的に検診を受けた	4 0.3%
					医療機関で検診相当行為を受けた及び個人的に検診を受けた	2 0.1%
					未受診	43 2.8%
	医療機関で検診相当行為を受けた	189 12.3%				
	個人的に検診を受けた	61 4.0%				
	入院中や療養中、出張等で事実上検診を受けることができなかった	29 1.9%				
	区市町村が実施する肺がん検診対象者	943 61.5%	受診	120 7.8%		
			未受診	810 52.9%		
無回答			13 0.8%			

大腸がん検診 n=1,485	勤務先で実施	251 16.9%	受診	177 11.9%		
			未受診	74 5.0%	医療機関で検診相当行為を受けた	9 0.6%
					個人的に検診を受けた	6 0.4%
					医療機関で検診相当行為を受けた及び個人的に検診を受けた	1 0.1%
					未受診	58 3.9%
	医療機関で検診相当行為を受けた	100 6.7%				
	個人的に検診を受けた	75 5.1%				
	入院中や療養中、出張等で事実上検診を受けることができなかった	34 2.3%				
	区市町村が実施する大腸がん検診対象者	1,025 69.0%	受診	108 7.3%		
			未受診	911 61.3%		
無回答			6 0.4%			

子宮がん検診 n=1,155	勤務先で実施	118 10.2%	受診	68 5.9%		
			未受診	50 4.3%	医療機関で検診相当行為を受けた	3 0.2%
					個人的に検診を受けた	2 0.2%
					医療機関で検診相当行為を受けた及び個人的に検診を受けた	8 0.7%
					未受診	37 3.2%
	医療機関で検診相当行為を受けた	158 13.7%				
	個人的に検診を受けた	65 5.6%				
	入院中や療養中、出張等で事実上検診を受けることができなかった	20 1.8%				
	区市町村が実施する子宮がん検診対象者	794 68.7%	受診	59 5.1%		
			未受診	732 63.3%		
無回答			3 0.3%			

乳がん検診 n=792	勤務先で実施	51 6.4%	受診	32 4.0%		
			未受診	19 2.4%	医療機関で検診相当行為を受けた	2 0.3%
					個人的に検診を受けた	1 0.1%
					医療機関で検診相当行為を受けた及び個人的に検診を受けた	2 0.2%
					未受診	14 1.8%
	医療機関で検診相当行為を受けた	68 8.6%				
	個人的に検診を受けた	65 8.2%				
	入院中や療養中、出張等で事実上検診を受けることができなかった	21 2.7%				
	区市町村が実施する乳がん検診対象者	587 74.1%	受診	56 7.1%		
			未受診	530 66.9%		
無回答			1 0.1%			

2 健康診査、がん検診を受診した理由

健康診査及びがん検診を受診した理由は表5、6のとおりである。

健康診査を受診した理由として最も多くあげられていたのが「健康状態をチェックするため」(44.8%)であり、次いで「受診するよう通知がきたから」(14.7%)であった。「生活習慣を見直すきっかけ」という理由は2.8%で最も低かった。

がん検診では、受診した理由として多くあげられていたのが、「がんを早期に見つけるため」であり、子宮がん以外のがん検診で受診理由として最も多くあげられていた。

(表5) 健康診査を受診した理由

上段：回答者数
下段：回答率(%)

	健康状態をチェックするため	病気の早期発見	生活習慣を見直すきっかけ	受診するよう通知がきたから	受診するよう通知がきたから	その他	無回答
健康診査	500	113	31	37	164	41	231
n = 1117	44.8	10.1	2.8	3.3	14.7	3.7	20.7
(前回受診率)	(54.7)	(7.4)	(2.1)	(1.3)	(21.2)	(4.9)	(8.4)

上段：回答者数
下段：回答率(%)

(表6) がん検診を受診した理由

	がんを見つけるために早期に	がんを確認するたため	受診するよう勧められたから	通知がきたから受診するよう	その他	無回答
胃がん検診 n = 576	195 33.9	144 25.0	27 4.7	73 12.7	34 5.9	103 17.9
肺がん検診 n = 639	175 27.4	175 27.4	24 3.8	86 13.5	44 6.9	135 21.1
大腸がん検診 n = 476	155 32.6	130 27.3	17 3.6	74 15.5	32 6.7	68 14.3
子宮がん検診 n = 363	132 36.4	139 38.3	12 3.3	28 7.7	35 9.6	17 4.7
乳がん検診 n = 226	94 41.6	76 33.6	6 2.7	12 5.3	14 6.2	24 10.6

3 健康診査、がん検診を受診しなかった理由

健康診査及びいずれのがん検診において、受診しなかった理由として多くあげられていたものは、「健康に自信あり」「暇がない」であった。

上段：回答者数(人)
下段：回答率(%)

(表7) 健康診査、がん検診を受診しなかった理由

	自宅療養中・入院中	旅行・出張	暇がない	健康に自信あり	悪いと言われるのが怖い	検診場所が身近にない	日時・場所を知らない	恥ずかしいから	その他	無回答
健康診査 n = 389	11 2.8	1 0.3	101 26.0	115 29.6	20 5.1	15 3.9	33 8.5	-	71 18.3	22 5.7
胃がん検診 n = 936	35 3.7	5 0.5	200 21.4	275 29.4	35 3.7	28 3.0	105 11.2	-	211 22.5	42 4.5
肺がん検診 n = 895	29 3.2	4 0.4	178 19.9	287 32.1	41 4.6	37 4.1	98 10.9	-	176 19.7	45 5.0
大腸がん検診 n = 1,009	31 3.1	5 0.5	218 21.6	304 30.1	50 5.0	40 4.0	102 10.1	-	224 22.2	35 3.5
子宮がん検診 n = 792	17 2.1	5 0.6	134 16.9	232 29.3	30 3.8	21 2.7	79 10.0	74 9.3	169 21.3	31 3.9
乳がん検診 n = 566	19 3.4	3 0.5	75 13.3	158 27.9	29 5.1	18 3.2	61 10.8	24 4.2	145 25.6	34 6.0